

労働階級と資本主義

一、世界資本主義と労働階級
世界の資本主義は最近一時的安定をした。これは労働階級を一層の隷屬化と極端な搾取とによつて蕭々したものである。然しながら此の一時的安定は鞏固なものではない。その事は世界各國の政治的動搖によつて知らるゝとが出来る。フランス、ドイツの内閣が出来たり倒れたりする事はよく此の事情を物語るものである。

労働階級の隷屬化は益々甚だしなつた。ドイツでは十時間、十二時間働かされ、莫銀は戦前よりも少ない。何故かうしたドイツに於て労働者が隷屬化されたとおろかと思ふに、労働組合が本来の職能を失ひ、官僚化し協調化してしまつてゐるからである。
イギリスの職能を見れば、資本家階級は労働階級に極度の壓迫を加へてゐる。但し此の国の労働組合は最近左翼的意志を明確にして来たのである。昨年の鏡山の争議が如く組合の集中の範疇によつて、資本の飽くなき暴虐を喰ひ止めることが出来た。
アメリカに於ては、經濟的には好景氣であるが、労働者の莫銀、時間は甚だ悪い、なせさうなつたかと云ふに、此の國では労働組合の統一といふものが無い、ゴンパース主義が組合を指導してゐるからである。

二、日本の資本主義と労働階級
日本に於ては戦年後の好景氣以来、莫銀は減額され、時間は長くなつた